

宮峠トンネル工事



森口 陽平
2015年入社

<業務概要>

工事箇所周辺の地下水・湧水・河川水への工事影響把握

入社後、愛知県・岐阜県内の水文調査に従事した後、2017年4月から宮峠トンネル工事・高山清見道路建設工事区間の水文調査業務に携わっています。

水量調査



水質調査



・建設業を選んだ理由

私は、大学で地質学を学び、地質の知見を活かせる職場として建設業に就職しました。地質は水文調査・地質調査・工事等、建設現場において、重要な基礎情報となります。地質と水に関しても深い関係性があるため、地質の経験を建設業界で活用したいと思っています。

・現場での役割

現場では、水文調査の現場管理(統括・安全管理)及び現地調査(水量・水質調査等)を行っています。現場管理では、街中や山中を移動するため、特に交通事故や転倒・滑落等に関して、自身及び作業員に注意を払っています。現地調査では工事周辺の地下水や河川水に工事の影響(濁りや水質の変化)がないかを調査しています。

・未来をつくる若手・女性技術者の皆様へ

私自身まだまだ若手で、学ぶことも多くあります。特に現場に出ることは、多くの事例を学べ、気づきを得られる最高の機会と感じます。積極的に現場に出て、技術者として、共に成長できればと思います。